

令和元年12月2日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 滝沢市民クラブ

代表者名 齋藤 明

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和元年11月12日（火）

2 活動場所

青森県青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ 4階県民ホール

3 参加者

齋藤 明、松村 一

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 滝沢市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) 研修 ・ 要請陳情等
<p>活動の理由 及び その目的</p>	<p>高齢者人口が最大となる2040年頃を見据えた対応が始まっており、地域に密着し、現場に精通する地方自治体が諸般の対策を先導していくことが求められております。地方創生の現代においてその役割が増大し、多様な民意の集約を本義とする市議会の責務も一段と重要になります。議会各人の自己研鑽と活力増進がこれまで以上に期待されております。近い将来、経済社会構造に大きな変容を迫る主要テーマに関して、様々な見解を冷静に吟味し必要な知識、見識、教養を深め、諸課題への対応に備えることを目的として、調査研究を行うものである。</p>
<p>活動概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●実施日 平成元年11月12日(火) ●場所 青森県青森市中央三丁目20-30(県民福祉プラザ4階県民ホール) ●内容 視察のテーマ 講演「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」 講師：中澤まゆみ氏
<p>活動成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特記事項(主な講演内容) ・介護は突然やってくる～介護保険の変化～人生百年時代の老後～日本のケアの課題～高齢者の三段階～ ・老後の体の特徴～介護が必要となる年代は？～介護が必要となる原因は？～認知症の原因は加齢～ ・全ての健康法に通じる4要素～地域で「医療と介護」の連携～住民の視点で「最期まで在宅」考える～ ・介護と医療がつながった～超高齢社会の不安～高齢期の暮らしの基本的な考え方～人生100年から終活～ ・高齢期を生き抜く3つのちから(自分力・人もち力・地域力)～老後の備え10か条～健康は日々の備えから～ ・かかり付け「医」をつくる～介護保険の仕組みを知っておく～「終の住みか」を考える～高齢者の3つの住まい方～ ・介護とは？～仕組み～健康なうちから備えること～暮らしの基本～3つの力～老後の備え～介護保険の仕組み～ ・地域ケアへの住民参加のかたち～ケアまちづくりを「協働」で～本当の「共生社会」をめざして～安心老後へ。

活動成果	<ul style="list-style-type: none">●所感等<ul style="list-style-type: none">・講師の中澤氏の体験を通して、介護とは？疑問を持つことがより重要であること～さらに暮らしの基本を考えること・生き抜く力をまとめて、老後に備える～健康なうちに備えることなど…の講演を研修した。その結果として高齢者への対応、基本的なことをまとめておくこと。健康なうちに人生設計を考えた前向きな仕組みなど捉えての講演。●考察<ul style="list-style-type: none">・本市における高齢者支援、介護の在り方など参考になる事例であり、最終的には、地域でのまちづくり「共生社会」を目指した取り組みなどを学ぶことができた。本市の課題解決を見据えた具体的な施策提案に向けて大変参考となった。
------	--

滝沢市民クラブ研修日程表

年月日	時刻	行程
令和元年11月12日(火)	10:00	盛岡駅集合（南口待合室）
	10:32～11:19	盛岡駅⇒新青森駅（JR 新幹線はやぶさ5号）
	11:35～11:41	新青森駅⇒青森駅（JR 奥羽本線）
		【昼食】
	13:02～13:13	青森駅⇒働く女性の家前（青森市営バス）
	14:00～16:15	<u>研修 県民福祉プラザ（青森県青森市中央三丁目20-30）</u> <u>「2040 未来ビジョン出前セミナー in 青森」</u>
		県民福祉プラザ⇒新青森駅（シャトルバス）
	17:22～18:10	新青森駅⇒盛岡駅（JR 新幹線はやぶさ34号）

令和2年2月13日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 滝沢市民クラブ

代表者名 齋藤 明 印

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和2年1月14日（火）

2 活動場所

東京都豊島区東池袋 1-6-4 アットビジネスセンター池袋駅前別館

3 参加者

齋藤 明、松村 一、日向 裕子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 滝沢市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	滝沢市総合計画の後期計画が策定され、本市は、滝沢市役所、ビッグルーフ滝沢周辺を総合中心拠点へと計画の策定中です。このことから、この度の、(株)地方議会総合研究所主催の都市計画入門を受講し、「将来の滝沢」の都市機能の在り方、今後のまちづくりの課題等の理解を深め今後の議員及び会派活動に活かす。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ●実施日 令和2年1月14日(火) ●場所 東京都豊島区東池袋1-6-4(アットビジネスセンター池袋駅前別館) ●内容 視察のテーマ「地方公共団体における都市計画入門」 ～わがまちのデザインをどうするか～ 講師:筑波大学教授 谷口 守 氏
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ●特記事項(主な講演内容) <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在都市の問題 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ都市ができるのか そのメカニズムを知る ・都市問題の元凶:スプロールを理解する ・日本の都市は「生活習慣病」 2. 都市計画の基本と制度 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制度の仕組み ・様々な計画ツール 3. 都市の魅力・競争力 <ul style="list-style-type: none"> ・都市をデザインする魅力の源泉 ・交通まちづくりで賑わいをコントロール ・都市を支える多様性 4. SDGs(持続可能な開発目標)と都市計画:サステナビリティ(環境・社会・経済の持続性)の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・二つの環境:「地球環境」「生活環境」 5. 都市をコンパクトに:健康まちづくりへの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の大転換:コンパクトシティへ ・環境、活力から健康へ 6. 合意と担い手 <ul style="list-style-type: none"> ・誰が都市計画を決めるのか ・伝える努力を考える 7. 期待される議員の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・競争から協調へ ※講師 筑波大学教授 谷口守氏「入門:都市計画」 ～「都市の機能とまちづくりの考え方」～ <p>研修は、講師による著書「都市計画」に沿って講義が進められた。都市として形成し、さらに生活基盤、交通網体系が整備され、都市機能が形成され現在に至っている。しかし、近年までの人口増加に伴う無秩序な郊外開発、無計画な開発が拡散され、まさにスプロール現象が起きている。「都市計画」～再構築へのプロセス等。</p>
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ●所感等 研修を受けて感じたことは、地方の都市・住宅地は、開発業者による独自の住宅環境、生活基盤が整備され、それぞれの宅地開発が連携されないまま現在に至っている。また、高齢化、各家族化などによる点状化する「空き家」「空洞化」等の現象が見られている。今後について、都市機能の再構築に向けてのスタンスの形成などについて学び貴重な研修であった。 ●考察 本市の現状は、これからの急激な人口減少はないものの、高齢化に伴う都市機能、住宅地機能が少しずつ変化しています。本市の中心拠点の構築、北部・中部・南部地区に亘る交通基盤の新たな展開・整備促進が望まれています。一部の地域において急激な人口増加に対応した住宅地機能が整備された地区があるものの、総じて再構築が必要な時期にきています。「将来の滝沢」形成に向けた新たなビジョン、市民への発信・共有が重要であり、地域課題等など見据え、具体的な提案に向けて大変参考となった。

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和2年1月14日 (火)	6:40	盛岡駅集合（南口待合室）
	7:10～8:59	盛岡駅⇒大宮駅（JR新幹線はやぶさ4号）
	9:08～9:24	大宮駅⇒赤羽駅（JR宇都宮線）
	9:28～9:37	赤羽駅⇒池袋駅（JR埼京線）
	9:09～9:31	大宮駅⇒池袋駅（成田エクスプレス15号） <u>＜JR宇都宮線事故により遅延のため特急券購入＞</u>
	10:00～17:00	【研修】 アットビジネスセンター池袋駅前別館 「地方公共団体における都市計画入門 ～わがまちのデザインをどうするか～」 池袋駅⇒大宮駅（JR湘南新宿ライン）
18:46～20:33	大宮駅⇒盛岡駅（JR新幹線はやぶさ35号）	

令和 2 年 2 月 2 8 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 滝沢市民クラブ
代表者名 齋藤 明

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 2 年 2 月 1 0 日（月） から 令和 2 年 2 月 1 1 日（火） まで

2 活動場所

K F C ホール 2 n d
（東京都墨田区横網 1-6-1）

3 参加者

齋藤 明、松村 一、日向 裕子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 滝沢市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) 研修 要請陳情等
<p>活動の理由 及び その目的</p>	<p>本市における財政状況は厳しい状態にあり、安定した行政運営を遂行するには財源の確保は重要である。住民の福祉向上、公共施設の維持修繕も急務を要し、課題は山積みで、議会で予算審査するにあたり正しい知識を得るためにこの講座を受講した。</p>
<p>活動概要</p>	<p>●実施日 令和2年2月10日(月) から 令和2年2月11日(火) まで</p> <p>●場所 KFCホール2nd(東京都墨田区横網1-6-1)</p> <p>●内容 (1) 2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント 埼玉大学大学院人文社会学研究所准教授 宮崎 雅人氏 (2) 地域の暮らしを支える行財政システム 金沢大学人間社会学域経済学類教授 武田 公子氏 (3) 長生きできる街を作ろう 千葉大学教授 近藤 克則氏 (4) 地域づくりと地方財政 東洋大学教授 沼尾 波子氏</p>
<p>活動成果</p>	<p>●所感等</p> <p>地方の各自治体の予算は、自主財源と地方交付税、国庫支出金等が主な財源である。市民税などの自主財源が豊富にある自治体は予算編成についてそれほど苦慮することはないだろうが、大方の自治体は国からの補助金に依存しなければ事業を実施することは困難である。</p> <p>本市においても例外ではなく、毎年度当局は予算を編成することに苦慮しているのが現状である。特に本市は県と盛岡市のベッドタウンとして急激に人口増加し続けている。全国的に人口減少が続く中で微増ながらも増加していることは、本市が住みやすいまちとして認知されていることによることを表していることと思う。</p> <p>反面住民の福祉向上のための事業も推進しなくてはならず、そのための予算もそれなりに必要になることは当然である。限られた予算の中で事業を実施するためには、時には起債をしなければならぬことも発生する。議会はそのらが本当に住民の福祉向上につながる事業かどうか公正に審査しなければならない。</p> <p>起債することは、その返済は後世代に負担がかかることを認識して実施しなければならない。本市においては住民ひとり当たりの起債残高は他自治体に比較して、それほど多くないことは、少し安心できる材料である。</p>

活動成果	<p>特にも建築物取得することは、その後の維持費もかなり高額を要することは容易に想定できるので、首長は一部住民の要望を受け入れ、もってもらしい理由で建築を提案することは一考を要すものと考え。また、その時は議会としても本当に必要かどうか、過去の事例も照らし合わせて慎重かつ、公正に議論を重ね結論をださなければならない。議案に賛成することは、首長と同様の責任を負わなければいけないことは、言うまでもない。</p> <p>次に健康で長生きできるまちづくりについてであるが、わが国は長寿社会を迎え、少子高齢化が問題視され、少子化対策が全国的課題にまでなっている。長生きすることはいいことであるが、反面高齢者の健康が重要視されている昨今でもある。</p> <p>人間だれしも健康で長生きしたいのは共通の思いでもあると考える。病気で入院や施設での生活を望む人はいない。</p> <p>近藤教授の調査によると高齢者における所得とうつ病、閉じこもりの関係は、低所得者のほうがうつ、閉じこもりになる確率が高いとされている。</p> <p>また、教育年数別検診未受診者割合は、低所得者程検診を受けないとされている。さらに、日常の運動する人の関係では、公園の近くに住む人ほど頻繁に運動すること、人口密度の高い地域では歩行量が多いとされている。要介護認定におけるの発生リスクは、趣味・スポーツ・町内会活動への参加率が低いほど要介護認定リスクが高いとされている。</p> <p>これらのことを踏まえて行政は事業計画を作成し、推進しなければならないと考える。我々議員も議会における一般質問や予算決算を審査する場合、これらのことも念頭において当局と対峙し、市民の負託に応えなければならないと感じたところである。</p>
------	--

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和2年2月10日 (月)	8 : 30	盛岡駅集合 (南口待合室)
	8 : 50～11 : 04 11 : 13～11 : 17 11 : 22～11 : 25	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ 10 号) 東京駅⇒秋葉原駅 (JR 山手線) 秋葉原駅⇒両国駅 (JR 中央・総武線)
	13 : 00～16 : 40	<p style="text-align: center;">【昼食】</p> <p style="text-align: center;">【研修】 K F C ホール 2nd (墨田区横網一丁目 6-1) 「2020 年度の予算審議 一まちづくりと自治体議会」(1 日目)</p> <p style="text-align: center;">【宿泊】 「パールホテル両国」 (墨田区横網一丁目 2-24)</p>
令和2年2月11日 (火)	10 : 00～14 : 40	<p style="text-align: center;">【研修】 K F C ホール 2nd (墨田区横網一丁目 6-1) 「2020 年度の予算審議 一まちづくりと自治体議会」(2 日目)</p>
	16 : 20～18 : 33	<p>両国駅⇒秋葉原駅 (JR 中央・総武線)</p> <p>秋葉原駅⇒東京駅 (JR 山手線)</p> <p>東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 31 号)</p>